

第2回伊勢市人権施策審議会 議事録要旨

議 事 概 要	
会議の名称	令和5年度第2回 伊勢市人権施策審議会
開催日時	令和5年8月25日(金) 10:00~11:10
開催場所	伊勢市役所 本庁舎東館4-3会議室
出席者 (敬称略)	<p>20人中16人出席</p> <p><b>【出席者】</b></p> <p>会長 富永 健            副会長 藤原 香代子            委員 水島 徹            委員 本村 鏡一            委員 浦田 宗昭            委員 前島 賢            委員 田辺 文代            委員 岸本 典子            委員 森 明美            委員 前村 裕司            委員 永井 勇輔            委員 山崎 静子            委員 坂田 吉弘            委員 池田 実            委員 森 典英            委員 福岡 俊記            委員 西沢 宏文</p> <p>(事務局)</p> <p>環境生活部長 大桑 和秀            人権政策課長 宮本 幸夫            同課 西井 有希            同課 山本 一摩</p> <p>株式会社サーベイリサーチセンター</p> <p><b>【欠席者】</b></p> <p>委員 山口 颯一            委員 小林 えり子            委員 小林 初美</p>
傍聴者人数	なし
会議の公開・非公開	公開
審議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 伊勢市人権施策基本方針の骨子案について</p>

	(2) 各施策分野別具体的施策の内容について 3 その他
問合先	伊勢市役所環境生活部人権政策課 電話0596-21-5545 FAX0596-21-5555

## 概 要

### (1) 開会

### (2) 議題

#### ○委託業者による説明

- ・資料1に基づき、人権施策基本方針の骨子案について説明

#### ○質問・意見等

・23ページ。部落差別を解決するための教育の推進とあるが、以前、伊勢ではすごくこの問題でもめて、教育長もやり過ぎたというような話になった。例えば、私の住んでいる地区の学校では、小学校4年生の子に15時間かけて、部落について教えていた。それを実践報告として冊子にして出版していた。これはもう明らかにやり過ぎということで反省したと思う。

文科省へも2回ほど行って話したが、小学生に部落のことを教えるのはまだ早過ぎますと。中学、高校になって歴史の時間にかつてそういう事実があったということで教えるのは当然ですけれども、小学生で無理ですというような文部省の回答だった。

部落の人は、自分の子供はもう部落であることを分からずに過ごしてほしい、それが一番の願いだと、一番幸せだという。そのとおりでと思う。わざわざ小学生に、あんたら、部落だということを教える必要があるのか。

かつてそのような失敗があったので、十分気をつけていただきたいと思う。

⇒教育についても、具体策等も教育委員会と協議しながら文言等も考えていきたい。どういうふうな教育方針を持っているかも、教育委員会と調整の図っていききたいと思う。【事務局】

・7ページで、人権課題のための施策の具体的施策の中身のところで、⑧の性同一性の問題が記入されていないのには何か意味があるのか。

⇒御指摘のとおり、性的マイノリティーの方の人権について、7ページの体系図に記載できていないため、今後作っていく中で反映する。【事務局】

・16ページのこどもの人権に関して。新しくここに入った文言として、「ヤングケアラー」と呼ばれる子供たちが増えてきて、日常の学校生活や学力、進路にも非常に影響を与えているという、社会問題になっている。現状と課題のところにこのヤングケアラーという記述があるので、できれば基本方針の中にもこの文言を入れていただきたい。5つ目の枠でもいいし、1つ枠を増やしてもうてでもいいし、ヤングケアラーの早期発見であるとか、あるいはその対応についての文言を入れていただけるといいのかなと思う。あと「ヤングケアラー状態」という言葉が気になる。「ヤングケアラーと言われる子どもが」ぐらいにしておいたほうが。あまり使わない言葉かなと思ったりするが。

26ページ「インターネットの人権侵害」について。この中にヘイトスピーチのことが記述されている。しかし、このヘイトスピーチというのは、インターネット上だけのことでなくて、もっと外国人に関わる大きな問題だと思う。いわゆる人権三法の中にも入っている重要な課題だと思うので、ここに入れるのもいいが、できれば⑥の外国人の人権の中にこの問題を盛り込んだほうがいいのかなというふうには思う。もちろんインターネットの中で起こっているということは確かだが、集会の中で演説したりというのもあると思うので、それも含めていただければ。

27ページ、この性的少数者、「LGBT」という言葉はもう随分定着をしてきたが、さらにこれに加えて、今ではクエスチョニングという、性的自認などを認めない、それから決めたくないという人も増えてきているというふうなところで、「LGBTQ」というふうに記載することが多くなってきていると思う。書物によっては「LGBTQ+」というふうに書いてあったりするので、新しい用語として新しい施策には入れたらどうかと思う。

⇒ヤングケアラーの問題は、事務局の中で調整して検討したいと思う。

また、外国人のヘイトスピーチについて御指摘いただいた部分についても、外国人の差別防止という観点からも記載を検討したいと思う。

性的マイノリティーの方々の表現について、確かに今、世間一般では「LGBTQ」というふうに呼ばれているので、表記もそのような形に変え、また、施策内容については事務局と調整をして検討したいと思う。【事務局】

⇒御指摘いただいた外国人の人権のところ、三法と言われている部分の記述が確かに入っていないので、障害者や部落差別と同じように記述するように調整したいと思う。【事務局】

・7ページ、先ほど意見がでたが、人権課題のための施策のところ、インターネットによる人権侵害の後に、やはり性的マイノリティーのこともきちんと入れておいてもらったほうが良いと思う。施策の体系というところは始めの方で目につくところなので、ここにも性的マイノリティーはきちんと挙げてほしいと思う。

14ページの女性の人権の部分。れいんぼうプランを挙げてもらっているが、この文面だけ見ると、2008年に出たきり変わっていないのかなという印象を受けてしまうので、今年度第4次れいんぼうプランが策定されたということも挙げておいてもらったほうがよい。女性の立場というか、そういうものも大分変わってきていると思うが、就労率は上がったけれども貧困の状態にあるとか、いろいろな問題があるので、そういうことも含めて新しく作ったということを明記してもらえるとありがたい。

それから、全体を見て感じたが、年表記を統一してほしいと思う。まず西暦を書いてもらって括弧で元号にもらったほうが、読んでいるほうも、これは何年前というのが計算できるので、統一性を持たせてもらいたいと思う。

⇒れいんぼうプランも見直しをされているので、他でもそういったところがないかということをもう一度確認する。元号だけでなく全体的に統一性を持たせ見直しを図りたいと考えている。【事務局】

・8ページの(1)番のところの、人権が尊重され認め合うまちづくり推進の施策について。平成24年の同じ施策を見たときに、市民参加と人権の行政の推進という立場があって、これをいただいたときに、伊勢市って、たくさんボランティアやNPO法人のある本当にいい町なのに、ここに挙がっていないが、どこに入るのだろうかと思い自分なりに読んだときに、人の社会参加の促進のところに入るのだろうかと思ったが、今までの強かった市民参加がこの文面だけでは読み取ることができず、どうなっているのかなと思っていたが、今日いただいた資料では、9ページの施策の一番最初がまちづくりの社会参加のことから始まっているので、もしできることならば、「このためには、」のところで先に行政のことが書かれて、2つ目に社会参加のことが書かれているが、もしも今までのようなところで進めていくのであれば、この順番を入れ替えたほうがみんなのまちづくりという感じがより伝わるし、もう少し強く出してもいいのではないかと感じた。

それから、もう一点は、(4)番の人権課題のための施策というところで、1行目から2行目にかけて、それぞれ「啓発活動などにより人権意識が定着し、課題が解消しつつありますが」と書いてあるが、資料のアンケートからいくと、女性で被害を感じた人が25%ぐらいで4分の1、その他のところでも、約3分の1弱、30%近い数字で被害を受けたことがあるというふうに4ページ辺りに出ているので、「解消しつつある」とまで書いてしまっているのか。4人に1人が感じているのであれば、それは解消されたとまでは言い切れないのではないかなと思う。最初のそれこそ大切な方針の文章なので、この文言も検討したほうがいいのではないかなと感じた。

⇒行政の推進というところも、その配置についても検討して、変更するように進めていきたいと考えている。

それと、2つ目の質問で、確かにアンケートの調査結果では4人に1人とい

うことであるので、そういった文言というの、他にもあるかと思うので、精査して、違った文言で明記するような方向で考えていきたいと思う。【事務局】

・伊勢市人権問題に関するアンケート調査について、今回職業別が出ているが、集計された意図は。学生などは年代別でもある程度は分かると思うが、あえて職業別で出された理由を教えてください。

⇒職業別、仕事、業種や職業別を出した意図は、就いている仕事の内容等によって、差別をされたり偏見を受けたりというところがあるのではないかなというように、課題認識に則って、クロス集計をした結果となっている。問2の「あなたは差別や人権侵害を受けたことがありますか」という設問について職種別、業種別で集計をしているが、サービス業に就いている方の差別を受けたことがあるという回答が高い傾向にあるということがあった。この結果から、傾向としてはサービスの提供に従事している方々の権というところが守られていないという部分があるのではないかなというふうなところが見えてきており、骨子の部分にも結果を抜粋して記載をしている。【事務局】

・何となくこの職業別を見ていると、会社員の方々は会社で研修の機会があって、ある程度、人権侵害について学習というか、提供されていると。でも、主婦業の方についてはそういう機会がないのではないかなというような、ちょっとした偏見を基に集計されているのかなというような気もしないではないので、年代別や男女別でも出てきているんだから、職業別をあえて公表する必要はないのではないかなと感じた。

⇒確かに最初おっしゃられたとおり、年代別で、学生であったりとか働いてみえる方であったりとかというのは分かるかと思うので、検討しどちらにするか提示できればと考えている。【事務局】

・16ページの「虐待やいじめは依然として深刻」という表現がいいのかどうか悩むところがある。今、虐待の件数は増加傾向。しかも、生徒の数は減っていたり、子供の数が減っている中で数字が微増しているという形だと思うので、「依然として」でいいのかなと、そこは少し悩む。それが深刻になり過ぎるのも何かよくないのかなと思って私も悩んでしまうが、その辺の表現をもう少し考えてもらったほうが、これと同じみみたいな印象。

⇒確かに虐待が増加傾向であるということは資料等出ているので、文言等調整していきたいと考えている。ほかの課題についても同じような傾向にはあるかと思うので、もう一度文言等を精査し、次回お示しできればと思う。【事務局】

・26ページ、27ページのところは、ある程度一から作っていただいたページか

と思うが、それまでのページと比べると、施策の内容が非常に簡単。例えばLGBTQのところだと「啓発活動します」って、それだけですかというような、ほかに何かないんですかみたいな、ほかと比べるとすごく薄いなというふうに思ってしまふ。これから10年間ぐらい使うとしたら、何かもう少しこういうことができるのではないかとか、対策など書くべきではないかを感じる。

それと、この女性から始まって、ここまでというのは、後ろのほうのアイヌ等も含めてこういう方々への課題だが、このインターネットの人権侵害はそうではなくて、そういう手段というのか、ステージというのか、それまでの流れと少し違うと思う。そのような観点でいくと、インターネットでの人権侵害もあるが、最近、カスタマーハラスメント等いわゆるハラスメントが、こういう人たちにというのではなくて、場面で起こる人権侵害というのがあると思う。いろいろな場面で起こるハラスメントに対して、このインターネットと並んで整理が要るのではないかというような気がしている。

⇒項目として挙げている人権侵害については、法務省で出している17の課題に基づいて、項立てをしている。ハラスメントは、その17の課題には記載がないため、ほかの女性の人権のところなどで追記するなり何なりというのを考えていけないといけないと思う。あくまでも、法務省の17の課題に沿った状態での方針ということで作っているところなので、ご理解いただきたいと思う。

それと、具体的な施策、方針、施策の内容についても、確かに性的マイノリティーは1項目だけの内容となっているので新たに追記するような形で検討したいと思う。

また、インターネットも具体的な内容を検討していきたいと思う。【事務局】

・性的マイノリティーのところ。三重県はパートナーシップ制度を取り入れて、なかなか先進的な取組をしている県だと思う。それを受けて、伊勢市でももっと詳しく、基本方針と具体的な施策についてもう少し膨らませてもらえたらありがたいと思う。アウトィングはいけないということも言われていたり等いろいろな問題もある。確かにぱっと見たところ、付け足しみたいな感じにも見えなくもないので、もう少し充実させるような内容になってくれるとありがたいと思う。

⇒確かに三重県でパートナーシップ制度も、施行されているので、そういったところも記述し、具体的な施策も検討していきたいと考えている。【事務局】